

PCA 個別原価会計シリーズ

Ver.1.0 Rev.6.16プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SZR_251015

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◇ 『PCA Hub 経費精算』連動メニューの追加

- 。 「随時」－「PCA Hub連動設定」を搭載しました。ここでは、『PCA Hub 経費精算』のURLを登録します。
- 。 「デジタルデータ処理」－「PCA Hub経費精算」に「経費精算へのマスター転送」「経費精算仕訳の受入」を搭載しました。『PCA Hub 経費精算』へ勘定科目や補助科目などを転送する処理と『PCA Hub 経費精算』から仕訳データを受け入れる機能です。

◇ 新リース会計基準に対応

- 。 勘定科目属性に「（有形固定資産）使用権資産」「（有形固定資産）使用権資産減価償却累計額」「（有形固定資産）使用権資産減損損失累計額」「（無形固定資産）使用権資産」「（無形固定資産）使用権資産償却累計額」「（無形固定資産）使用権資産減損損失累計額」「（投資その他の資産）使用権資産」「（その他流動負債）リース負債」「（その他流動負債）一年内返済リース負債」「（固定負債）リース負債」「（営業外費用）リース負債に係る利息費用」を追加しました。
- 。 「決算書」の「個別注記表」初期値を「リースにより使用する固定資産に関する注記」から「リースに関する注記」に変更しました。
- 。 「キャッシュ・フロー計算項目」の「財務活動」タブに「リース負債の返済による支出」を追加しました。
- 。 「FR形式XBRL出力」で新たに追加した勘定科目属性に対応しました。

◇ グローバル・ミニマム課税制度に対応

- 。 勘定科目属性に「（固定負債）長期未払法人税等」「（法人税等）国際最低課税額に対する法人税等」を追加しました。
- 。 「決算書」の「個別注記表」初期値に「国際最低課税額に対する法人税等に関する注記」を追加しました。
- 。 「FR形式XBRL出力」で新たに追加した勘定科目属性に対応しました。

◇ 第六世代税理士用電子証明書に対応

- 。 「電子申告」の電子署名において、第六世代税理士用電子証明書に対応しました。

◇ PCA IDに対応（PCAクラウド・PCAサブスクのみ）

- 。 「システムツール」の「連携アカウントでログオンの有効化」にて、「PCA ID」の有効化が行えます。
- 。 「システムユーザーの登録」の「一括新規」で「PCAアカウントから選択する」を利用し、システムユーザーを追加または新規作成することが可能です。

◇ FinTechサービスの起動制限緩和（PCAクラウドのみ）

- 。 「システムツール」の「製品サービスライセンスの追加」が不要となり、「デジタルデータ処理」－「FinTechサービス」が表示されるようになりました。

◇ PCAクラウド 複数企業の管理をされているお客様向け機能強化

- 。 「システムツール」に「リカバリ時の表示メッセージの管理」を追加し、ユーザーID情報が一致した場合に動作選択メッセージを表示できるようにしました。

◇ 汎用データレイアウトの変更

- 。 仕訳（Ver6、Ver5）の入力プログラム区分に「23:経費精算仕訳受入」を追加しました。

◇ 機能強化（全般）

- 。電子帳簿保存法の改正に合わせ、「会社基本情報」の「電子帳簿保存」タブの内容を「優良な電子帳簿」「その他（一般の電子帳簿）」に変更しました。
- 。「システムユーザーメール設定」「システムユーザー連携アカウント設定」で、メールアドレス登録時にRFC違反しているアドレスを登録できないよう変更しました。
- 。「電子申告」で自動ダイレクトを利用する際、チェック漏れを防ぐため「私(当社)は、申告した納税額について、自動ダイレクトを利用し、選択した口座からの引落としにより納付します」を赤字に変更しました。

互換性に関する変更点

◇ データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「1.33」に更新しました。

◇ APIの変更について

以下のエンティティの値の説明を変更しました。

- 。「会社基本情報」

◇ 汎用データレイアウトの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- 。「会社基本情報」「仕訳」